

## 市町村から「浸水時における消毒方法について」問い合わせのあった場合の参考

### 1 浸水時の床上、床下消毒

消毒薬 : 0.2%w/v 第四級アンモニウム塩(塩化ベンザルコニウム、塩化ベンゼントニウム)

(塩化ベンザルコニウム : オスバン、逆性石けん等)

(塩化ベンゼントニウム : ハイアイミン等)

【オスバン液(10%塩化ベンザルコニウム)希釈方法】:

全量10L作成の場合、水9,800mlにオスバン200ml

使用方法:

床上(屋内の壁や家具、床等)

泥や汚れを流水で洗い流した後(または雑巾などで水拭き)、散布または清拭して消毒する。

散布する場合は、表面が濡れる程度に散布する。

床下

排水された後、霧状にならないように留意しながら消毒液を散布する。

その他注意点:

消毒した部屋等は換気は良くし、乾燥させる。

他の消毒薬及び薬品と混濁する可能性がないことを確認する。

消毒液を使用する際は目・咽・手などの保護を十分に行う。

### 2 し尿槽付近の消毒

し尿槽内の汚物は、くみ取りで処理し、周囲にあふれた場所については、壁などの汚れを流水で流し、家の周囲等に消石灰を白く覆われる程度に散布対応する。

消石灰が皮膚などに着かないように十分注意する。

消石灰は水との接触で発熱するので注意する。

消石灰の使用する際は目・咽・手などの保護を十分に行う。

クレゾール石けん液は、排水規制があるので使用する場合は注意が必要。

また、クレゾール石けん液と次亜塩素酸ナトリウムを同時に使用しないよう注意する。

### 3 浸水した食器類の消毒

消毒薬 : 0.01% 次亜塩素酸ナトリウム

【ハイター(5%次亜塩素酸ナトリウム)希釈方法】:

全量5L作成の場合、水4,990mlにハイター10ml

使用方法:

流水で洗浄後、消毒液に30分程度浸漬後、再び流水で洗浄し乾燥させる。

(参考: 和歌山県感染症マニュアルから抜粋、  
新潟県薬剤師会薬事情報センター発行 水害時の消毒法)

(ク)【その他】

※和歌山県感病症マニュアルから抜粋

消毒対象		消毒薬	ポイント
道路・公園・溝・河川等		希釈排水が基本	消毒薬は特に用いず、大量の水で流す。
		汚染部位を絞って使用する場合は ○ 0.2%w/v 両面界面活性剤 ○ 0.2%w/v 第四級アンモニウム塩 ○ 0.05~0.5% (500~5000 ppm) 次亜塩素酸 Na	生体及び環境に影響の少ない消毒液を使用すること。 霧状になる噴霧法は行わないこと。 他の消毒薬及び薬品と混濁する可能性がないことを確認すること。 ウイルスが対象の場合は次亜塩素酸 Na を用いること。
井戸		消毒薬未使用	飲食に使用する場合は必ず煮沸すること。
		消毒薬を使用 ○ 次亜塩素酸 Na	井戸水からの汚染が疑われた時、及び病原体の井戸への流入が明らかな場合に使用。 濃度が 0.4mg/l を維持するように。
便槽	浄化槽		浄化槽管理が出来ているか確認。
	汲み取り	○ 次亜塩素酸 Na (ハイコン顆粒等) 生石灰	塩素濃度は、0.01 ~ 0.05% を目安に調整。 生石灰は、発熱等に注意する。 市町村及び、し尿収集運搬業者との連携も考慮する。
風呂場、浴槽		○ 市販の風呂用洗剤	湯を抜いた後、水道水で流し市販の風呂用洗剤にて洗浄後、再度水洗乾燥させる。
		消毒薬を使用 ○ 0.02% (200ppm) 次亜塩素酸 Na	汚染が濃厚と思われる場合に散布、その後水でよく流し、乾燥させる。
プール		○ 次亜塩素酸 Na ○ 次亜塩素酸 Ca ○ 塩素化イソシアヌル酸 等	濃度が 0.4mg/l を維持するように。
浸水時の床上、床下		○ 0.2%w/v 第四級アンモニウム塩	床上は散布または清拭。床下は霧状にならないように気をつけて散布すること。 他の消毒薬及び薬品と混濁する可能性がないことを確認すること。
使い捨てオムツ等			使用済みは内容物が外へ漏れないよう二重にナイロン袋等に入れ、高圧蒸気滅菌または焼却等適切に処理すること。

# 水害時の消毒法

(社) 新潟県薬剤師会 薬事情報センター

消毒対象	消毒薬	調製方法	使用方法
屋外 (し尿槽や下水があふれた場所、動物の死骸や腐敗物が漂着した場所、氾濫した汚水が付着した壁面、乾燥しにくい床下)	クレゾール石けん	クレゾール石けん液 30ml に水を加えて1リットルとする。液が濁って沈殿物が生じた場合には上澄み液を使用する	家屋の周りは、じょうろや噴霧器などで濡れる程度に散布する。壁面は、泥などの汚れを水で落としてから、消毒液をひたした布などでよく拭く。または噴霧器で噴霧する場合は、濡れる程度に噴霧する。
	オゾン剤 <sup>注1</sup> 消石灰	オゾン剤 20ml に水を加えて1リットルとする 浸水した床下・家の周囲等に、消石灰を表面が白く覆われる程度(300g/m <sup>3</sup> )の量、散布する。散布した石灰が飛散しないよう、ジヨウロ等で軽く水をまいて、表面の消石灰を固める。消石灰は水との接触で発熱する。	
屋内 (汚水に浸かった壁面や床、家財道具) 手指 (後片づけなどで、汚染された箇所や土に触れた手指)	逆性石けん (オスバン等)	塩化ベンザルコニウムまたは塩化ベンゼトニウムとして0.1%の濃度になるように希釈する。(10%製品の場合、本剤 10ml に水を加え1リットルとする)いろいろな濃度のものが市販されているので、希釈倍率に注意。	泥などの汚れを洗い流すか、雑巾などで水拭きしてから、希釈液に浸した布などでよく拭く。又は噴霧器で噴霧する場合は、濡れる程度に噴霧する。その後は風通しをよくしそのまま乾燥させる。
	食器類	次亜塩素酸ナトリウム(ミルトン、ハイター <sup>注2</sup> 等)	汚れを石けんで洗った後、流水で石けんを落とし、洗面器などに入れた消毒液に手首まで浸し、30秒以上もみ洗いをする。その後、乾いたタオルなどでよく拭き取る。石けんが残っていると殺菌力が低下するので、よく洗い流すこと。
井戸水	次亜塩素酸ナトリウム	次亜塩素酸ナトリウムの濃度が0.02%になるように希釈する。(10%製品を使用する場合は、本剤2ml に水を加えて1リットルとする。)残留塩素として1~2ppmの濃度になるように調整する。(10%製品を使用する場合は、水1リットルにつき1滴を加える。)	食器を水洗いした後、消毒液に5分以上浸し、その上で自然乾燥させる。
			汚染された井戸水は水質検査で飲用可能になるまで飲まないほうが良いが、やむを得ず使用する場合は、煮沸してから用いる。また、消毒薬を使用する場合は、くみ取った水に1~2ppm濃度になるよう調整した消毒液を入れ、30分以上放置してから飲む。

## <注意事項>

- \* 取り扱う際には長袖、長ズボンを着用し、メガネ、マスク、ゴム手袋などを使用し皮膚や目にかからないように注意すること。
- \* 皮膚についた場合には大量の水と石けんで良く洗い流す。目に入った場合は、水で15分以上洗い流し、医師の診察を受けること。
- \* 液体は、使用前に希釈し、希釈する濃度を守ること。
- \* 他の消毒薬や洗剤などと混合しないこと。
- \* 他の容器に移して保管しないこと。
- \* 浄化微生物に影響を及ぼすので、浄化槽には散布しないこと。

<参考> (社) 茨城県薬剤師会、(社) 名古屋薬剤師会 作成資料

注1：新潟県内で市販されているオゾン剤としては、三共オゾンK(三共)、スパールオゾンS(明治)、明治ゾール77(クレゾール入り：明治)などがあります。

注2：ハイターは界面活性剤等が入っているため飲料時には用いません。食器に使用した場合は、すすぎが必要です。